

【45】平成29年度 大学院シラバス

<p>専攻分野/コース (英文名)</p>	<p>母体・胎児・新生児病態学 (Feto-Maternal medicine and Neonatology)</p>
<p>研究指導教員</p>	<p>山本 仁、北川博昭、鈴木 直</p>
<p>研究・教育の概略</p>	<p>周産期医学領域は、その進歩とともに胎児、新生児の連続性はより強く認識され、臨床のみならず研究面においても生後から成人までの発育、発達を見据えたものでなければならない。胎児は、母体内という特殊な環境のため、胎児の病態を理解する上で産科的基礎知識は不可欠であり、母体の生理を理解しつつ胎児の様々な未知なる生理機能の臨床研究を行う。また同時に母体の疾患およびその治療が、胎児に対してどのような内科的、外科的異常をもたらし、それに対しどのような診断および治療法があるのか、必要に応じ動物実験を含め研究する。出生後の新生児については、単に小児のミニチュアではなく、特異な生理機能を有していることを認識し、それを解明していくことを目指す。また感染症、呼吸循環、神経学的異常など新生児の多彩な病態は、小児、成人へと発育、発達する過程に大きく影響するため、効果的診断、治療法の確立は重要であるが、そのために基礎的、臨床的研究は必須である。母乳は、成熟児のみならず近年増加傾向にある早産、低出生体重児の栄養、発育発達に大きな意味をもつが、生理機能については未知なる部分も多くさらに解明していく。また母乳育児は、母子の愛着形成早期確立に極めて重要という観点から、母子の精神的、社会的影響についての検討も行う必要がある。</p> <p>新生児医療の社会的貢献という観点からは、上記のことを理解、修得した新生児専門医の教育、育成は極めて重要であり、本学分野が、その機能を果たすことを目指す。即ち、他大学、他施設病院からの研修生を含め、教育の一環として他施設での新生児研修も視野に入れ、可能な限り地域の周産期医療のレベルアップを図る。</p>
<p>研究項目</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 胎児炎症反応症候群 (FIRS) 解明に向けた基礎的・臨床的研究 2) 妊娠中の母体疾患および薬物治療の影響による、母体、胎児の病態生理学変化に関する研究 3) 先天性奇形症候群に対する胎児の外科的治療法の検討 4) 極および超低出生体重児の呼吸循環管理が新生児肺機能に及ぼす影響に関する研究 5) 新生児低酸素性虚血性脳症に対する脳保護療法の確立に向けた基礎的、臨床的研究 6) 早産、低出生体重児の薬物動態および生理的パラメーターに関する研究 7) 母乳哺育の母子の精神的、社会的影響に関する研究 8) 母体・新生児予後改善を目的とした、地域周産期関連施設ネットワークシステム構築に関する研究
<p>準備学習(予習・復習)</p>	<p>受胎から胎児、新生児への劇的な形態、環境の変化を準備段階として、しっかり予習、復習しておく。具体的には受精、胎児の発育、分娩、新生児に渡るそれぞれの時期での特徴、問題点を把握しておく。</p>

学籍番号	
氏名	

平成29年度講義シラバス(1)

講義コード	※	専攻分野	母体・胎児・新生児病態学		
講義題目	胎児・新生児学概論 I		必修/選択	必修	
担当教員	北東 功	担当教員連絡先	内線 3321		
単位数	2単位(前期 1 後期 1)	履修年次	1年		
テーマと目的	胎児の生理的な発生、発育過程と母体疾患との関わりを理解する。				
講義計画	具体的な疾患、症例を交え胎児の病態を解説する。				
達成目標	母体疾患との関わりを理解し胎児の病態を説明できる。				
教科書・参考書	Avery's Neonatology, Lippincott Williams & Wilkins, 6 th edition				
準備学習(予習・復習・時間)	胎児の生理学的特徴を把握する。 1時間				
成績評価法	学習態度および筆記、口頭試験				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席Ⓜ)	後期(回)	内 容	(出席Ⓜ)
1	胎児の発育、発達 1		1	胎児の生理機能 10	
2	胎児の発育、発達 2		2	胎児異常の診断 1	
3	胎児の発育、発達 3		3	胎児異常の診断 2	
4	胎児の発育、発達 4		4	胎児異常の診断 3	
5	胎児の発育、発達 5		5	胎児異常の診断 4	
6	胎児の発育、発達 6		6	胎児異常の診断 5	
7	胎児の生理機能 1		7	胎児の疾患 1	
8	胎児の生理機能 2		8	胎児の疾患 2	
9	胎児の生理機能 3		9	胎児の疾患 3	
10	胎児の生理機能 4		10	胎児の疾患 4	
11	胎児の生理機能 5		11	胎児の疾患 5	
12	胎児の生理機能 6		12	胎児の疾患 6	
13	胎児の生理機能 7		13	胎児の疾患 7	
14	胎児の生理機能 8		14	胎児の疾患 8	
15	胎児の生理機能 9		15	胎児の疾患 9	

講義担当者承認 Ⓜ

学籍番号	
氏 名	

平成29年度講義シラバス(2)

講義コード	※	専攻分野	母体・胎児・新生児病態学	
講義題目	胎児・新生児学概論 II		必修/選択	必修
担当教員	北東 功	担当教員連絡先	内線 3321	
単位数	2単位(前期 1, 後期 1)	履修年次	1年	
テーマと目的	胎児との違いを含めた新生児の生理機能を理解する。			
講義計画	呼吸循環動態を中心とした胎児と新生児の違い及び年長児とも異なる新生児特有の生理機能を多角的に説明する。			
達成目標	出生前後で劇的に変化する新生児の生理機能と、さらに年長児とも異なる新生児の生理学的発達過程を説明できる。			
教科書・参考書	Avery's Neonatology, Lippincott Williams & Wilkins, 6 th edition			
準備学習(予習・復習・時間)	胎児から新生児に至る呼吸循環動態の変化を予習しておく。1時間			
成績評価法	学習態度および筆記、口頭試験			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容	(出席Ⓜ)	後期(回)	内 容 (出席Ⓜ)
1	出生前後の生理学的変化 1		1	新生児の消化管生理および黄疸 1
2	出生前後の生理学的変化 2		2	新生児の消化管生理および黄疸 2
3	出生前後の生理学的変化 3		3	新生児の消化管生理および黄疸 3
4	出生前後の生理学的変化 4		4	新生児の消化管生理および黄疸 4
5	出生前後の生理学的変化 5		5	新生児の腎、泌尿器学生理 1
6	新生児の体組成 1		6	新生児の腎、泌尿器学生理 2
7	新生児の体組成 2		7	新生児の腎、泌尿器学生理 3
8	新生児の体組成 3		8	新生児の腎、泌尿器学生理 4
9	新生児の呼吸循環生理 1		9	新生児の造血機能 1
10	新生児の呼吸循環生理 2		10	新生児の造血機能 2
11	新生児の呼吸循環生理 3		11	その他の新生児臓器生理 1
12	新生児の呼吸循環生理 4		12	その他の新生児臓器生理 2
13	新生児の呼吸循環生理 5		13	その他の新生児臓器生理 3
14	新生児の呼吸循環生理 6		14	その他の新生児臓器生理 4
15	新生児の呼吸循環生理 7		15	その他の新生児臓器生理 5

講義担当者承認 Ⓜ

学籍番号	
氏名	

平成29年度講義シラバス(3)

講義コード	※	専攻分野	母体・胎児・新生児病態学		
講義題目	新生児呼吸循環病態生理学		必修/選択	必修	
担当教員	北東 功	担当教員連絡先	内線3321		
単位数	2単位(前期 1, 後期 1)	履修年次	1年		
テーマと目的	新生児の呼吸循環器疾患の病態を理解する。				
講義計画	代表的な呼吸器、循環器疾患の症例を提示しながら説明する。				
達成目標	新生児の代表的な呼吸器、循環器疾患の病態、診断および治療について説明できる。				
教科書・参考書	Avery's Neonatology, Lippincott Williams & Wilkins, 6 th edition				
準備学習(予習・復習・時間)	胎児および新生児の呼吸、循環の相違を予習する。 1時間				
成績評価法	学習態度および筆記、口頭試験				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席㊟)	後期(回)	内 容	(出席㊟)
1	胎児期の呼吸器系の発達 1		1	先天性心疾患の診断 1	
2	胎児期の呼吸器系の発達 2		2	先天性心疾患の診断 2	
3	胎児期の循環器系の発達 1		3	新生児呼吸窮迫症候群 1	
4	胎児期の循環器系の発達 2		4	新生児呼吸窮迫症候群 2	
5	出生時の呼吸循環適応障害 1		5	新生児一過性多呼吸症	
6	出生時の呼吸循環適応障害 2		6	胎便吸引症候群 1	
7	出生時の呼吸循環適応障害 3		7	胎便吸引症候群 2	
8	出生時の呼吸循環適応障害 4		8	急性期呼吸器疾患管理各論 1	
9	新生児の呼吸障害総論		9	急性期呼吸器疾患管理各論 2	
10	新生児の呼吸器疾患管理 1		10	新生児遷延性肺高血圧症 1	
11	新生児の呼吸器疾患管理 2		11	新生児遷延性肺高血圧症 2	
12	チアノーゼ合併新生児の管理 1		12	NO吸入療法	
13	チアノーゼ合併新生児の管理 2		13	母体ステロイド治療と新生児予後	
14	新生児慢性肺疾患総論 1		14	新生児慢性肺疾患各論 1	
15	新生児慢性肺疾患総論 2		15	新生児慢性肺疾患各論 2	

講義担当者承認 ㊟

学籍番号	
氏 名	

平成29年度講義シラバス(4)

講義コード	※	専攻分野	母体・胎児・新生児病態学		
講義題目	母乳育児学		必修/選択	必修	
担当教員	北東 功	担当教員連絡先	内線3321		
単位数	2単位 (前期 1, 後期 1)	履修年次	1年		
テーマと目的	出生直後からの母乳育児の重要性を理解する。				
講義計画	母乳育児と密接な関係のあるカンガルーケア、母子同室を通して母乳育児の重要性を医学的観点からのみならず母子愛着形成も含め説明する。				
達成目標	母乳育児は、母乳の医学的利点だけではなく母子愛着形成の点からも優れていることを説明できる。				
教科書・参考書	Breastfeeding and human lactation, Jones and Bartlett, 3 rd edition				
準備学習(予習・復習・時間)	新生児の発育発達への母乳の影響を予習する。 1時間				
成績評価法	学習態度および筆記、口頭試験				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席Ⓜ)	後期(回)	内 容	(出席Ⓜ)
1	出生直後の母子 skin to skin 接触 1		1	カンガルーケアの効果 3	
2	出生直後の母子 skin to skin 接触 2		2	カンガルーケアの効果 4	
3	出生直後の母子 skin to skin 接触 3		3	カンガルーケアの効果 5	
4	母乳の生理学 1		4	母子同室と愛着形成 1	
5	母乳の生理学 2		5	母子同室と愛着形成 2	
6	母乳の生理学 3		6	母子同室と愛着形成 3	
7	母乳の生理学 4		7	母子同室と愛着形成 4	
8	母乳の生理学 5		8	母子同室と愛着形成 5	
9	母乳の生理学 6		9	母子同室と愛着形成 6	
10	母乳の生理学 7		10	母子同室と愛着形成 7	
11	母乳の生理学 8		11	母子同室と愛着形成 8	
12	母乳の生理学 9		12	Family centered care 1	
13	母乳の生理学 10		13	Family centered care 2	
14	カンガルーケアの効果 1		14	Family centered care 3	
15	カンガルーケアの効果 2		15	Family centered care 4	

講義担当者承認 Ⓜ

学籍番号	
氏名	

平成29年度講義シラバス(5)

講義コード	※	専攻分野	母体・胎児・新生児病態学		
講義題目	新生児神経学		必修/選択	必修	
担当教員	山本 仁	担当教員連絡先	内線3321		
単位数	2単位 (前期 1, 後期 1)	履修年次	1年		
テーマと目的	新生児神経疾患の基礎を理解する。				
講義計画	先天性中枢神経奇形や新生児仮死合併例などを提示し説明する。				
達成目標	基本的な新生児神経疾患の病態を理解し、その管理を説明できる。				
教科書・参考書	Neurology of the newborn, Saunders, 4 th edition				
準備学習(予習・復習・時間)	新生児の神経発達を予習しておく。 1時間				
成績評価法	学習態度および筆記、口頭試験				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席㊟)	後期(回)	内 容	(出席㊟)
1	胎児期の神経系の発達 1		1	代謝性脳病態生理 1	
2	胎児期の神経系の発達 2		2	代謝性脳病態生理 2	
3	新生児神経疾患診断学 1		3	代謝性脳病態生理 3	
4	新生児神経疾患診断学 2		4	代謝性脳病態生理 4	
5	新生児けいれん 1		5	脳性麻痺 1	
6	新生児けいれん 2		6	脳性麻痺 2	
7	新生児けいれん 3		7	脳性麻痺 3	
8	低酸素性虚血性脳症 1		8	頭蓋内病変と感染 1	
9	低酸素性虚血性脳症 2		9	頭蓋内病変と感染 2	
10	低酸素性虚血性脳症 3		10	頭蓋内病変と感染 3	
11	低酸素性虚血性脳症 4		11	新生児神経疾患と予後 1	
12	新生児頭蓋内出血 1		12	新生児神経疾患と予後 2	
13	新生児頭蓋内出血 2		13	新生児神経疾患と予後 3	
14	新生児頭蓋内出血 3		14	新生児神経疾患と予後 4	
15	新生児頭蓋内出血 4		15	新生児神経疾患と分娩外傷	

講義担当者承認 ㊟

学籍番号	
氏名	

平成29年度講義シラバス(6)

講義コード	※	専攻分野	母体・胎児・新生児病態学	
講義題目	新生児腫瘍学		必修/選択	必修
担当教員	木下明俊	担当教員連絡先	内線3321	
単位数	2単位(前期 1, 後期 1)	履修年次	1年	
テーマと目的	新生児腫瘍学の基礎を理解する。			
講義計画	先天性奇形腫など具体的な症例を提示し説明する。			
達成目標	代表的な新生児腫瘍の病態および管理を説明できる。			
教科書・参考書	Avery's Neonatology, Lippincott Williams & Wilkins, 6 th edition			
準備学習(予習・復習・時間)	新生児期の腫瘍の特徴について予習する。 1時間			
成績評価法	学習態度および筆記、口頭試験			
講義内容				
前期(回)	内 容	(出席㊟)	後期(回)	内 容 (出席㊟)
1	新生児腫瘍学総論 1		1	先天性肝腫瘍 1
2	新生児腫瘍学総論 2		2	先天性肝腫瘍 2
3	新生児腫瘍学総論 3		3	先天性肝腫瘍 3
4	神経芽腫 1		4	先天性奇形腫 1
5	神経芽腫 2		5	先天性奇形腫 2
6	神経芽腫 3		6	先天性奇形腫 3
7	神経芽腫 4		7	先天性奇形腫 4
8	先天性白血病 1		8	先天性奇形腫 5
9	先天性白血病 2		9	脳腫瘍 1
10	先天性白血病 3		10	脳腫瘍 2
11	一過性骨髄異形増殖 1		11	脳腫瘍 3
12	一過性骨髄異形増殖 2		12	新生児時期発症の血管腫 1
13	一過性骨髄異形増殖 3		13	新生児時期発症の血管腫 2
14	先天性腎腫瘍 1		14	新生児時期発症の血管腫 3
15	先天性腎腫瘍 2		15	先天性肉腫

講義担当者承認 ㊟

学籍番号	
氏名	

平成29年度講義シラバス(7)

講義コード	※	専攻分野	母体・胎児・新生児病態学		
講義題目	新生児感染症学		必修/選択	必修	
担当教員	山本 仁	担当教員連絡先	内線3321		
単位数	2単位 (前期 1, 後期 1)	履修年次	1年		
テーマと目的	新生児感染症の基礎を理解する。				
講義計画	先天性敗血症など症例を提示しながら説明する。				
達成目標	典型的新生児感染症の病態を理解し管理を説明できる。				
教科書・参考書	Infectious diseases of the fetus and newborn infant, Elsevier Saunders, 6 th edition				
準備学習(予習・復習・時間)	新生児感染症の特徴を予習する。 1時間				
成績評価法	学習態度および筆記、口頭試験				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席Ⓜ)	後期(回)	内 容	(出席Ⓜ)
1	新生児感染症学概論		1	先天性肺炎 1	
2	新生児感染症疫学		2	先天性肺炎 1	
3	新生児感染症と母体感染との関連 1		3	先天性敗血症 1	
4	新生児感染症と母体感染との関連 2		4	先天性敗血症 2	
5	新生児感染症と母体感染との関連 3		5	新生児髄膜炎 1	
6	新生児感染免疫学 1		6	新生児髄膜炎 2	
7	新生児感染免疫学 2		7	後期新生児期感染症 1	
8	新生児感染免疫学 3		8	後期新生児期感染症 2	
9	新生児感染症の臨床診断 1		9	後期新生児期感染症 3	
10	新生児感染症の臨床診断 2		10	B群溶連菌感染症	
11	新生児感染症の臨床診断 3		11	黄色ブドウ球菌感染症	
12	新生児感染症の臨床診断 4		12	新生児のウイルス感染症 1	
13	新生児感染症治療 1		13	新生児のウイルス感染症 2	
14	新生児感染症治療 2		14	新生児のウイルス感染症 3	
15	新生児感染症治療 3		15	新生児のウイルス感染症 4	

講義担当者承認 Ⓜ

学籍番号	
氏名	

平成29年度講義シラバス(8)

講義コード	※	専攻分野	母体・胎児・新生児病態学		
講義題目	新生児免疫・アレルギー学		必修/選択	必修	
担当教員	山本 仁	担当教員連絡先	内線3321		
単位数	2単位 (前期 1, 後期 1)	履修年次	1年		
テーマと目的	新生児の免疫、アレルギーの基礎を理解する。				
講義計画	先天性ミルクアレルギーなど症例を提示しながら説明する。				
達成目標	典型的な新生児アレルギーの病態を理解し管理を説明できる。				
教科書・参考書	Immunologic disorders in infants and children, Elsevier Saunders, 5 th edition				
準備学習(予習・復習・時間)	新生児のアレルギー疾患について予習する。 1時間				
成績評価法	学習態度および筆記、口頭試験				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席Ⓢ)	後期(回)	内 容	(出席Ⓢ)
1	胎児新生児期の免疫系の発達 1		1	二次性免疫不全症 1	
2	胎児新生児期の免疫系の発達 2		2	二次性免疫不全症 2	
3	胎児新生児期の免疫系の発達 3		3	二次性免疫不全症 3	
4	胎児新生児期の免疫系の発達 3		4	二次性免疫不全症 4	
5	胎児新生児期の免疫系の発達 4		5	二次性免疫不全症 5	
6	自然免疫学概論 1		6	二次性免疫不全症 6	
7	自然免疫学概論 2		7	新生児アレルギー概論 1	
8	獲得免疫学概論 1		8	新生児アレルギー概論 2	
9	獲得免疫学概論 2		9	新生児ミルクアレルギー 1	
10	原発性免疫不全症 1		10	新生児ミルクアレルギー 2	
11	原発性免疫不全症 2		11	新生児アレルギーと母体疾患 1	
12	原発性免疫不全症 3		12	新生児アレルギーと母体疾患 2	
13	原発性免疫不全症 4		13	アトピー性皮膚炎	
14	原発性免疫不全症 5		14	呼吸疾患とアレルギー	
15	原発性免疫不全症 6		15	新生児アレルギーと長期予後	

講義担当者承認 Ⓢ

学籍番号	
氏名	

平成29年度講義シラバス(9)

講義コード	※	専攻分野	母体・胎児・新生児病態学		
講義題目	産科学		必修/選択	必修	
担当教員	鈴木 直	担当教員連絡先	内線3332		
単位数	2単位 (前期 1, 後期 1)	履修年次	1年		
テーマと目的	周産期管理に必要な基本的産科学を理解する。				
講義計画	母体疾患と胎児の影響を考慮し具体的症例を提示しながら説明する。				
達成目標	母体、胎盤および胎児の関連を代表的母体疾患の病態を含め理解し説明できる。				
教科書・参考書	Williams Obstetrics, MaGraw/Hill (32 nd sediton)				
準備学習(予習・復習・時間)	妊娠母体、胎盤の機能、特徴について予習する。 1時間				
成績評価法	学習態度および筆記、口頭試験				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席㊟)	後期(回)	内 容	(出席㊟)
1	生殖系の解剖・発生 1		1	妊娠中期の異常	
2	生殖系の解剖・発生 2		2	妊娠後期の異常	
3	生殖生理学 1		3	胎児の異常 1	
4	生殖生理学 1		4	胎児の異常 2	
5	月経異常		5	合併妊娠 1	
6	母体内分泌異常		6	合併妊娠 2	
7	乳房疾患		7	分娩の生理	
8	性分化異常		8	分娩の異常 1	
9	不妊症		9	分娩の異常 2	
10	不妊治療		10	産褥の生理と異常	
11	避妊		11	妊娠・分娩の管理と検査 1	
12	妊娠の生理 1		12	妊娠・分娩の管理と検査 2	
13	妊娠の生理 2		13	妊産婦に対する処置と手術 1	
14	妊娠の生理 3		14	妊産婦に対する処置と手術 2	
15	妊娠初期の異常		15	胎児に対する処置と手術	

講義担当者承認 ㊟

学籍番号	
氏名	

平成29年度講義シラバス(10)

講義コード	※	専攻分野	母体・胎児・新生児病態学		
講義題目	胎児・新生児外科学概論		必修/選択	必修	
担当教員	北川博昭	担当教員連絡先	内線		
単位数	2単位 (前期 1, 後期 1)	履修年次	1年		
テーマと目的	周産期医療に必要な胎児、新生児外科学の基礎を理解する。				
講義計画	胎児外科的治療を含め新生児外科症例を提示しながら説明する。				
達成目標	先天性横隔膜ヘルニアなど代表的新生児外科症例の病態を理解し説明できる。				
教科書・参考書	Pediatric Surgery, 4 th edition				
準備学習(予習・復習・時間)	新生児外科の特徴的疾患について予習しておく。 1時間				
成績評価法	学習態度および筆記、口頭試験				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席Ⓜ)	後期(回)	内 容	(出席Ⓜ)
1	胎児外科疾患の診断 1		1	ECMOの管理 1	
2	胎児外科疾患の診断 2		2	ECMOの管理 2	
3	胎児外科疾患の診断 3		3	新生児消化器外科学 1	
4	胎児外科疾患の治療 1		4	新生児消化器外科学 2	
5	胎児外科疾患の治療 2		5	新生児消化器外科学 3	
6	胎児外科疾患の治療 3		6	新生児消化器外科学 4	
7	新生児外科疾患概論 1		7	新生児呼吸器外科学 1	
8	新生児外科疾患概論 2		8	新生児呼吸器外科学 2	
9	新生児外科疾患の診断 1		9	新生児呼吸器外科学 3	
10	新生児外科疾患の診断 2		10	新生児呼吸器外科学 4	
11	新生児外科疾患の診断 3		11	新生児泌尿生殖器外科学 1	
12	新生児外科疾患の輸液・栄養管理 1		12	新生児泌尿生殖器外科学 2	
13	新生児外科疾患の輸液・栄養管理 2		13	新生児腫瘍外科学 1	
14	新生児外科疾患の輸液・栄養管理 3		14	新生児腫瘍外科学 2	
15	新生児外科疾患の輸液・栄養管理 4		15	新生児腫瘍外科学 3	

講義担当者承認 Ⓜ

学籍番号	
氏名	

平成29年度講義シラバス(11)

講義コード	※	専攻分野	母体・胎児・新生児病態学		
講義題目	新生児科実習		必修/選択	必修	
担当教員	山本仁	担当教員連絡先	内線		
単位数	1単位 (前期 1)	履修年次	1年		
テーマと目的	母乳育児を基幹とした新生児の基本的診察、検査および治療を理解する。				
講義計画	産科病棟の正常新生児およびNICUにて具体的症例に触れる。				
達成目標	母乳育児の重要性を理解しながら新生児の基本的診療手技を説明できる。				
教科書・参考書	Avery's Neonatology, Lippincott Williams & Wilkins, 6 th edition				
準備学習(予習・復習・時間)	母乳育児の重要性について予習しておく。 1時間				
成績評価法	学習態度および筆記、口頭試験				
講義内容					
前期(回)	内 容	(出席Ⓢ)	後期(回)	内 容	(出席Ⓢ)
1	正常新生児の診察 1		1		
2	正常新生児の診察 1		2		
3	正常新生児の診察 1		3		
4	正常新生児の診察 1		4		
5	正常新生児の診察 1		5		
6	正常新生児の診察 1		6		
7	正常新生児の診察 1		7		
8	NICU入院児の診察 1		8		
9	NICU入院児の診察 1		9		
10	NICU入院児の診察 1		10		
11	NICU入院児の診察 1		11		
12	NICU入院児の診察 1		12		
13	NICU入院児の診察 1		13		
14	NICU入院児の診察 1		14		
15	NICU入院児の診察 1		15		

講義担当者承認 Ⓢ

学籍番号	
氏名	

平成29年度講義シラバス(12)

講義コード	※	専攻分野	母体・胎児・新生児病態学		
講義題目	新生児代謝生理学		必修/選択	選択	
担当教員	北東 功	担当教員連絡先	内線3321		
単位数	2単位 (前期 1, 後期 1)	履修年次	1年		
テーマと目的	新生児の代謝生理学の基礎を理解する。				
講義計画	先天性代謝疾患症例を提示しながら説明する。				
達成目標	新生児の代表的先天性代謝疾患の病態を理解し管理を説明できる。				
教科書・参考書	Inborn metabolic diseases, Springer, 4 th edition				
準備学習(予習・復習・時間)	先天性代謝疾患の基礎を予習しておく。 1時間				
成績評価法	学習態度および筆記、口頭試験				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席Ⓞ)	後期(回)	内 容	(出席Ⓞ)
1	新生児代謝性疾患総論 1		1	先天性アミノ酸代謝異常症 1	
2	新生児代謝性疾患総論 2		2	先天性アミノ酸代謝異常症 2	
3	新生児代謝性疾患総論 3		3	先天性アミノ酸代謝異常症 3	
4	新生児代謝性疾患総論 4		4	先天性アミノ酸代謝異常症 4	
5	新生児代謝性疾患総論 5		5	先天性アミノ酸代謝異常症 5	
6	先天性糖代謝性異常症 1		6	先天性有機酸代謝異常症 1	
7	先天性糖代謝性異常症 2		7	先天性有機酸代謝異常症 2	
8	先天性糖代謝性異常症 3		8	先天性有機酸代謝異常症 3	
9	先天性糖代謝性異常症 4		9	先天性有機酸代謝異常症 4	
10	先天性糖代謝性異常症 5		10	その他の先天性代謝異常症 1	
11	先天性脂肪代謝異常症 1		11	その他の先天性代謝異常症 2	
12	先天性脂肪代謝異常症 2		12	その他の先天性代謝異常症 3	
13	先天性脂肪代謝異常症 3		13	先天代謝異常症治療の今後の展望 1	
14	先天性脂肪代謝異常症 4		14	先天代謝異常症治療の今後の展望 2	
15	先天性脂肪代謝異常症 5		15	先天代謝異常症治療の今後の展望 3	

講義担当者承認 Ⓞ

学籍番号	
氏名	

平成29年度講義シラバス(13)

講義コード	※	専攻分野	母体・胎児・新生児病態学	
講義題目	新生児遺伝病学		必修/選択	選択
担当教員	北東 功	担当教員連絡先	内線3321	
単位数	2単位 (前期 1, 後期 1)	履修年次	1年	
テーマと目的	周産期および新生児期の臨床遺伝学の基礎を理解する。			
講義計画	染色体異常症や遺伝疾患の症例を提示しながら説明する。			
達成目標	基本的な遺伝形式や代表的な先天性遺伝疾患の病態を理解し患者家族に対して説明できる。			
教科書・参考書	Avery's Neonatology, Lippincott Williams & Wilkins, 6 th edition			
準備学習(予習・復習・時間)	遺伝子、遺伝性疾患の基礎を予習する。 1時間			
成績評価法	学習態度および筆記、口頭試験			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容	(出席Ⓜ)	後期(回)	内 容 (出席Ⓜ)
1	臨床遺伝学総論 1		1	臨床遺伝学各論 1
2	臨床遺伝学総論 2		2	臨床遺伝学各論 2
3	臨床遺伝学総論 3		3	臨床遺伝学各論 3
4	臨床遺伝学総論 4		4	臨床遺伝学各論 4
5	臨床遺伝学総論 5		5	臨床遺伝学各論 5
6	臨床遺伝学総論 6		6	臨床遺伝学各論 6
7	臨床遺伝学総論 7		7	臨床遺伝学各論 7
8	臨床遺伝学総論 8		8	臨床遺伝学各論 8
9	臨床遺伝学総論 9		9	臨床遺伝学各論 9
10	臨床遺伝学総論 10		10	臨床遺伝学各論 10
11	臨床遺伝学総論 11		11	臨床遺伝学各論 11
12	臨床遺伝学総論 12		12	臨床遺伝学各論 12
13	臨床遺伝学総論 13		13	臨床遺伝学各論 13
14	臨床遺伝学総論 14		14	臨床遺伝学各論 14
15	臨床遺伝学総論 15		15	臨床遺伝学各論 15

講義担当者承認

Ⓜ

学籍番号	
氏名	

平成29年度講義シラバス(14)

講義コード	※	専攻分野	母体・胎児・新生児病態学		
講義題目	周産期精神保健学		必修/選択	選択	
担当教員	北東 功	担当教員連絡先	内線3321		
単位数	2単位 (前期 1, 後期 1)	履修年次	1年		
テーマと目的	周産期医療に伴う患者、家族及び医療者の心のケアの重要性を理解する。				
講義計画	予後不良児など具体的症例を提示し共に考える時間を提供する。				
達成目標	患者、家族および医療者の、それぞれの立場のストレスを理解する気持ちを持ち、それを自分なりの言葉で表現でき何らかのサポートができる。				
教科書・参考書	Avery's Neonatology, Lippincott Williams & Wilkins, 6 th edition				
準備学習(予習・復習・時間)	周産期医療と心のケアについて予習しておく。 1時間				
成績評価法	学習態度および筆記、口頭試験				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席㊟)	後期(回)	内 容	(出席㊟)
1	周産期精神保健学総論 1		1	周産期精神保健学症例検討 14	
2	周産期精神保健学総論 2		2	周産期精神保健学症例検討 15	
3	周産期精神保健学症例検討 1		3	周産期精神保健学症例検討 16	
4	周産期精神保健学症例検討 2		4	周産期精神保健学症例検討 17	
5	周産期精神保健学症例検討 3		5	周産期精神保健学症例検討 18	
6	周産期精神保健学症例検討 4		6	周産期精神保健学症例検討 19	
7	周産期精神保健学症例検討 5		7	周産期精神保健学症例検討 20	
8	周産期精神保健学症例検討 6		8	周産期精神保健学症例実習 1	
9	周産期精神保健学症例検討 7		9	周産期精神保健学症例実習 2	
10	周産期精神保健学症例検討 8		10	周産期精神保健学症例実習 3	
11	周産期精神保健学症例検討 9		11	周産期精神保健学症例実習 4	
12	周産期精神保健学症例検討 10		12	周産期精神保健学症例実習 5	
13	周産期精神保健学症例検討 11		13	周産期精神保健学症例実習 6	
14	周産期精神保健学症例検討 12		14	周産期精神保健学症例実習 7	
15	周産期精神保健学症例検討 13		15	周産期精神保健学症例実習 8	

講義担当者承認 ㊟